

グローバル・ガバナンス学会

第7回研究大会

(日本公益学会との共催)

開催ご案内

日時：2015年9月26日(土)10時～18時30分

会場：筑波大学(筑波キャンパス)総合研究棟A、3A棟

グローバル・ガバナンス学会 第7回研究大会のご案内

向秋の候、会員各位におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。グローバル・ガバナンス学会第7回研究大会を、下記のように筑波大学・筑波キャンパスにて2015年9月26日（土）に開催いたしますので、そのプログラムをお届けいたします。

第7回研究大会の内容は多様ですが、あえて簡潔にまとめるならば、国際秩序・国際規範の「形成論を超えて」というテーマになろうかと思えます。周知の通り、各国の社会や国際社会には、実に様々な懸案や課題があり、それに伴う混乱や軋轢は容易には解消しません。そのためか、研究者は問題の解決や安定化を展望しつつ分析を進めがちで、必然的に一定の発展イメージなり進歩史観を念頭に置きがちのようです。とりわけ国際秩序や規範、制度などを論じる際には、それらの形成過程として現象を描きだし、そこにみられる因果関係を導出し、明確化しようと尽力します。

ですが、多くの現象は単線的な発展を遂げず、一定の国際秩序・規範の成立をもって事態が決着するわけではありません。幾度も後退や混乱が生じ、想定外の新たな事態に直面せざるをえません。その際には、従来対応できていなかった問題や、従前の秩序・規範の内在的限界が露呈してしまいます。しかしそれは、秩序や規範の新たな展開につながるような現象、同時に研究上も興味深い素材を発見できる好機でもあります。それを視野に入れ直し、新たな観点から因果関係を再構築するのは、研究上の知見を拡張する刺激的な試みになるはずです。

第7回研究大会では、共通論題「トランスナショナルな脅威に対する安全保障」においてISや海賊、サイバーテロや自然災害といった、従来为国家間協力では対応が容易でない、安全保障上の新たな問題群をとりあげます。それでもなお可能な国家間協力、国家以外のプレーヤーとの協働はどのようなものか。現在進行中の現象を踏まえて、従来の枠を超える議論の手がかりを摸索します。また部会「突発事態が地域ガバナンスに及ぼす影響」も斬新な内容であり、形成されていた地域ガバナンスが、突発的な事件や現象によって大きく揺さぶられる現象、また従来は有効だったガバナンスの構成要素が見直される状況を問います。部会「ポスト2015年の開発ガバナンス」においては、ミレニアム開発目標の次の段階について、国連や各国でどのような構想が浮上しつつあるのか。環境や南南協力の次元も加えて、新たな動きを多角的にとらえます。

今回も日本公益学会に協力を賜り、研究大会を共催いたします。そのため、上記の共通論題・部会とも密接にかかわる安全保障文化の主要国比較、また女性の活躍やスポーツといった興味深い政策分野の動向、秩序や規範の前提となる住民参加の諸問題についても、セッションをお聞きいただけます。

ご多用とは存じますが、ぜひとも研究大会に参加いただき、議論を交わしていただき、研究上の対話や交流が深まりますこと、それらが皆様のご研究を進める一助になりますことを願ってやみません。

2015年8月10日
グローバル・ガバナンス学会会長
大矢根 聡

第7回研究大会・プログラム

日 時：2015年9月26日（土）10時～18時30分

会 場：筑波大学 筑波キャンパス（総合研究棟A、3A棟）

正面入口に受付があります。

- ・下記のプログラムは8月10日時点のものであり、内容の変更等は学会ウェブサイトでお知らせいたします。
- ・すべてのセッションを学会員のみならず、非会員の方にも公開いたします。
- ・非会員の学部学生は、学生証の提示を持って参加費無料といたします。
- ・一般の非会員の方は、500円をお支払いいただきますようお願いいたします。

10:00-12:00 部会 I

「突発事態が地域ガバナンスに及ぼす影響」（総合研究棟 A-111）

（趣旨）

紛争やテロ、革命などの突発的な事態が、その事態が発生した当事国およびその周辺の国家のガバナンスに影響を及ぼすことは当然であるが、そのような事態は、特定の国家を超えて、より広く地域のガバナンス—地域的な国際機構や制度、秩序にも変容を迫ることがある。本部会では、中東、ヨーロッパ、アフリカの地域を取り上げ、それぞれにおける突発的な事態の地域ガバナンスへの影響を検証し、共通する変容の要因と影響を考える。

司会者：鈴木早苗（アジア経済研究所）

報告者：Sfoug Alshammary（立命館大学〔大学院生〕）

論 題：「Energy Stability in Arabian Gulf Post - Arab Uprisings, Shale Oil Revolution and U.S. Withdrawal Era」（英語）

討論者：中村覚（神戸大学）

報告者：山本直（北九州大学）

論 題：「葛藤の中のEU安全対策」

討論者：安江則子（立命館大学）

報告者：杉木明子（神戸学院大学）

論 題：「アフリカにおける海賊問題と『海洋ガバナンス』」

討論者：佐藤誠（立命館大学）

12:05-13:15 合同懇親会（昼食）（2B棟1階食堂ホール）

【会費 2500 円】※当日、学会受付にてお申し込みください。

13:30-15:30 部会 II

「ポスト 2015 年の開発ガバナンス」（3A棟403）

（趣旨）

今まさにポスト 2015 年の開発枠組みが採択されようとしている。2015 年という目標達成期限を目前に、ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals; MDGs）の達成状況は不十分なものとなることが明らかになった。2015 年以降の国際開発枠組みが創出されるにあたり、国際社会には二つの動きが生まれた。一つは、MDGs を下敷きに新枠組みを作る動きである。もう一つは、新枠組みに、環境分野での目標、すなわち、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals; SDGs）をも含める動きである。この二つの動きのせめぎ合いの背景には、先進国中心の既存のガバナンスに不満を抱く新興国の動きがあった。本部会では、ポスト 2015 年開発枠組みが創出される政治過程を、先進国と新興国の双方の観点から描き出す。同時に、開発ガバナンスと環境ガバナンスの相互作用を検討し、開発ガバナンス再構築のメカニズムを明らかにしたい。

司会者：上村雄彦（横浜市立大学）

報告者：高柳彰男（フェリス女学院大学）

論 題：「ポスト 2015/持続可能な開発目標(SDGs)プロセスにおける争点」

報告者：伊藤丈人（青山学院大学）

論 題：「MDGs からポスト 2015 に向けた論点整理—環境と障害分野に注目して—」

報告者：下村恭民（法政大学）

論 題：「『新興ドナー』の台頭と国際開発規範形成過程の変容—南南協力取り込みのレトリックと実利追求」

討論者：山本吉宣（新潟県立大学）

15：45～17：45 共通論題（日本公益学会と共催）

「トランスナショナルな脅威に対する安全保障」（3A棟403）

（趣旨）

国家間の安全保障は依然として重要な問題であるが、同時にトランスナショナルな非国家的な主体による脅威が拡大している。もちろん、テロや海賊、サイバーテロなどは従来から重大な脅威であり、安全保障上の国家間協調やグローバル・ガバナンスの試みもみられる。とはいえ、IS（イスラム国）の台頭を顕著な例として、こうしたトランスナショナルな脅威は新たな展開を示しつつある。その存在や行動様式、脅威のあり方、対応の枠組みは、どのような概念によって捉え、どのように分析し、対処を考えるべきか、知的挑戦を受けていると言えよう。共通論題では、ISと海賊、サイバーテロ、大規模自然災害に関して専門的知見を提供いただき、これらに通底するような問題状況とグローバル・ガバナンスをめぐる課題を検討する。

司会者：大矢根聡（同志社大学）

報告者：酒井啓子（千葉大学）

論 題：「動乱の中東を域内関係から読み解く」

報告者：竹田いさみ（獨協大学）

論 題：「海賊を中心に」（仮）

報告者：土屋大洋（慶應義塾大学）

論 題：「共有空間としてのサイバースペースの安全保障」

報告者：丸茂雄一（専修大学）

論 題：「大規模自然災害—スマトラ沖地震とその後の展開」

討論者：山本武彦（早稲田大学）

18：00-18：30 総会（3A棟403）

※総合研究棟A205室で、飲み物（ノンアルコール）をご用意しております。

※キャンパス内にコンビニ、食堂、コーヒースタンドがあります。

※キャンパス周辺にもレストランやコンビニがありますが、会場からは徒歩5～10分ほどかかります。

第7回研究大会・会場・交通案内

会場（受付）：筑波大学筑波キャンパス 総合研究棟A 正面入口に受付があります。
〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1 <http://www.tsukuba.ac.jp>

会場へのアクセス

- つくばエクスプレス 秋葉原駅から快速 45 分、「つくば駅」下車（片道 1,190 円）
出口 A3. 時刻表、運賃表はこちらをご覧ください。 <http://www.mir.co.jp>
- バス 筑波大学循環バス（右回り、左回り、いずれも可。270 円）⑥のりば
「筑波大学中央」（本部棟前）または「筑波大学」（東京駅行き）バス停下車
循環バス（左回り）バス停前に「総合研究棟A」があります。
- タクシーの場合、約 1,400 円です(駅から約 4km)。

「筑波大学中央」、「筑波大学」（東京駅行き） 停車場発のバス時刻表

- ・ 以下は、土日の午後の時間帯のみ記載しています。いずれも「つくばセンター」
に行きます（* は「一の矢宿舎」回りのため、遠回りになります）。

バス停 時	筑波大学中央《左回り》	筑波大学中央 《右回り》	筑波大学（東京 駅行き）
12	10, 30, 32*, 50	17, 57	15, 45
13	10, 12*, 30, 50, 52*	37	15, 45
14	10, 30, 32*, 50	17, 57	15, 45
15	10, 12*, 30, 50, 52*	37	15, 45
16	10, 30, 32*, 50	17, 57	15, 45
17	10, 12*, 45, 52*	37	15, 45
18	20, 32*, 50	17, 57	15, 45
19	12*, 40, 52*	37	15, 45
20	20, 32*	16, 56	15, 45

○ J R 常磐線

- ・ 荒川沖駅 西口 4 乗り場から「筑波大学中央」行バスで 30-40 分
西口からタクシーで 20-25 分
- ・ 土浦駅 西口 2 乗り場から「筑波大学中央」行バスで 35-40 分
西口からタクシーで 15-20 分

○ 東京駅から高速バス

- ・ 東京駅八重洲南口から「筑波大学」行きバス（約 75 分）
- ・ 高速バス乗り場（2 番バス停）
- ・ 時刻表と運賃は、次の関東鉄道のサイトをご覧ください。

http://www.kantetsu.co.jp/bus/highway_tsukuba_tokyo.html

○ お車の場合、

次の路線地図をご参照ください。

http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba_access.html

学内駐車場の本部棟エリア北駐車場 3 カ所（キャンパスマップのⒺの場所）を
ご利用いただけます。当日、駐車場ゲートは開いています。

キャンパスマップ 中地区



受付および部会の会場は、上記のバス停「筑波大学」前にある総合研究棟Aです。
 共通論題は3 A棟（長い矢印）、懇親会は2 B棟 1階の食堂ホールで行います。

○つくば駅近くのホテル

オークラフロンティアホテルつくば

〒305-0031 つくば市 吾妻 1-1364-1

http://www.okura.com/jp/domestic/kanto/okura_tsukuba/ つくば駅徒歩 3 分

オークラフロンティアホテルつくば (エポカル)

〒305-0032 つくば市 竹園 2-20-1

http://www.okura.com/jp/domestic/kanto/okura_tsukuba/ (エポカル館)

つくば駅徒歩 10 分

ダイワロイネットホテルつくば

〒305-0031 つくば市 吾妻 1-5-7

<http://www.daiwaroynet.jp/tsukuba/> つくば駅徒歩 3 分

東横 INN つくばエクスプレス研究学園駅北口

〒305-0817 つくば市研究学園 5-13-7

<http://www.toyoko-inn.com/hotel/00228/index.html> 研究学園駅北口徒歩 3 分

その他にもホテルはあります。宿泊予約については、会員各人で直接ホテルに予約して下さい。

***大会のプログラムは、本学会のウェブページでも順次更新してご案内いたします。**

<http://globalgovernance.jp/>

また、本学会のウェブサイトにて、参加申し込みが可能です。

*なお、当プログラムは 8 月 10 日時点の情報に基づいて作成されております。

*今年度会費未納のかたへのお知らせ

当日は、学会受付でも年会費の納入を受け付けます。

または、次の口座から年会費をお振込み願います。

0 0 9 3 0 - 9 - 1 2 8 1 5 5

グローバル・ガバナンス学会